

Istanbul Weekly vol.6-no.35

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2017年10月6日（金）

— 今週のポイント —

- 政治：**国会開会：エルドアン大統領、党派を超えた連帯の必要性を強調。
エルドアン大統領、ローハニ・イラン大統領と会談。
- 経済：**9月のコアインフレ率、2004年来最高値の10.98%。
イラン、トルコの第1位の原油輸入元に。
トルコから日本へ、家きん肉の輸出にゴーサイン。
- 治安：**在イスタンブール米国総領事館の職員がFETO関連容疑で逮捕。
9月中にトルコ国内でISIL容疑者135名を拘束。
- 軍事：**ソマリアでトルコ政府支援による軍事訓練アカデミーが開設。
- 社会：**乳がん罹患者8人に1人。
バクラヴァ・コンテスト開催される。

政治

【内政】

●国会開会：エルドアン大統領、党派を超えた連帯の必要性を強調

1日、新立法年度(2017-2018)の国会会期が開幕し、エルドアン大統領は、演説を行った。演説において同大統領は、テロとの闘いを断固とした態度で継続していくとし、トルコが危機的な状況から脱出するためには党派を超えた連帯が重要であると強調した。一方で、所属国会議員の拘束が続くHDPは同開会式を欠席し、デミルタシュHDP共同代表が勾留されているエディルネ刑務所前で党独自の「国会開会式」を実施した。(10月2日付H紙18面)

●エルドアン大統領、2019年の選挙に向けたAKPの人事刷新プロセスに言及

9月27日に実施されたAKPの党中央執行委員会で、エルドアン大統領は、2019年に予定される大統領選、国会総選挙及び地方選挙に向け、党の人事を刷新する方針を述べた。同大統領はその一環で、ギョクチェキ・アンカラ市長を始めとする5市のAKP市長の辞任を求めていく可能性を示唆した。(9月28日付H紙18面及び10月4日付M紙16面)

【外交】

●北イラクのクルディスタン地域の独立の賛否を問う住民投票に対するトルコの反発

9月25日に実施された北イラクのクルディスタン地域の独立の賛否を問う住民投票で独立賛成票が92%を越えたことを受け、トルコ側の反発や警戒が続いている。9月30日、エルドアン大統領は、住民投票はこれまでクルディスタン地域に支援を行ってきたトルコに対する裏切り行為であると批判した。また、クルドゥルム首相は、あらゆる対抗措置を講じる用意がある旨述べた。(10月1日付M紙21面)

べた。(10月1日付M紙21面)

●エルドアン大統領、ローハニ・イラン大統領と会談

4日、エルドアン大統領は、テヘランでローハニ・イラン大統領と会談を実施した。両首脳は、北イラクのクルディスタン地域の指導部に対して厳しい措置を講じていくことで一致した。また、同会談では、アスタナ・プロセスについても協議され、エルドアン大統領は、同プロセスはシリアで不当な扱いを受けている人々の救出手段であるとして、改めて同プロセスの重要性を強調した。(10月5日付M紙14面)



(写真は、10月5日付M紙インターネット版から)

経済

【マクロ経済】

●9月の経済信頼感指数、下降

9月28日、トルコ統計庁(TUIK)は経済信頼感指数を発表。9月は対前月比3%減の102.8となった。この減少は、建設部門、消費者部門、サービス部門及び小売部門の指数悪化が主な要因。同指数は100以上で楽観的な見通しを示す。(9月29日付HDN紙11面)

●8月の貿易赤字、対前年同月比22.8%増の58.7億ドル

9月29日、トルコ統計庁(TUIK)は8月の貿易赤字が対前年同月比22.8%増の58.7億ドルとなったと発表した。輸出額は同12.3%増の132.9億ドル、輸入額は同15.3%増の191.6億ドルであった。また、1月から8月までの合計は、輸出が対前年同期比10.8%増の1,033億ドル、一方で、輸入は同13.8%増の1,489億ドルとなった。(9月29日付HDN紙インターネット版)

●輸出、対前年同月比8.9%増の113億ドル

トルコ輸出業者評議会(TIM)の発表によると、9月のトルコの輸出額は対前年同月比8.9%増の113億ドル。自動車産業が同10.9%増の22億ドル、衣類産業及び化学産業がそれぞれ12.9億ドル、12.8億ドルとなった。第1位の輸出先はドイツで、同8.3%増の約12億ドル。続いて、英国、米国、イタリア、イラクとなった。(10月2日付HDN紙10面)



(写真は、10月2日付HDN紙10面から)

●9月の貿易赤字、対前年同月比85.2%増

2日、税関・貿易省は9月の貿易赤字が対前年同月比85.2%増の81.4億ドルとなったと発表した。輸入額は8.67%増の118億ドル、輸入額は30.67%増の199億ドルであった。(10月2日付HDN紙インターネット版)

●フィッチ、トルコの経済成長見通しを5.5%に上方修正

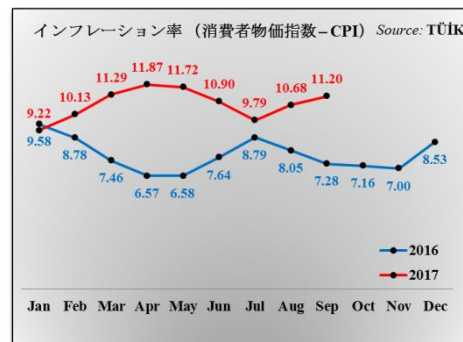
2日、国際格付け機関のフィッチは2017年のトルコ経済の成長見通しを4.7%から5.5%に上方修正した。また、同社は「Global Economic Outlook(GOE)」レポートにおいて、トルコの経済成長は第3四半期に7%を上回る可能性もあることを示した。(10月3日付HDN紙10面)

●トルコの対外債務総額、GDPの半分以上を上回る

9月29日、財務省は、トルコの対外債務総額は2017年6月末時点で4,324億ドルに達したと発表。この債務高は国内総生産(GDP)の51.8%に当たり、2003年以来初めて過半数となった。なお、GDPにおける対外債務の割合は、第1四半期末時点では48.6%であった。(10月3日付HDN紙10面)

●9月のコアインフレ率、2004年来最高値の10.98%

3日、トルコ統計庁(TUIK)は9月のトルコのコアインフレ率(エネルギー、食糧等、価格変動の大きい分野を除いて算出された比率)が2004年2月以来の最高値となる10.98%を記録したと発表した。また、消費者物価指数は、11.2%で、2017年中で3番目に高い数値となった。イシュ・インベストメントのキョムルジュオウル・エコノミストは、二桁台のインフレ率によって中央銀行の金融引締め政策は続行されると予測。(10月4日付HDN紙10面)



(グラフは、TUIK のデータに基づき当館作成)

●建設産業、2017年上半期6.4%成長

建設資材生産者協会(IMSAD)の発表した「2017年9月産業調査」によると、トルコの建設産業は2017年上半期に6.4%成長し、全体の経済成長率を上回る数値となった。また、建設産業による雇用者も6月末時点で217万人を記録し、過去最高値となった。一方で、同調査結果によると、今年上半期には建設経費も上昇し、2,526億トルコ・リラと、対前年同期比32.5%増となったことが示された。(10月2日付HDN紙10面)

●9月の自動車販売数、6%増

3日、自動車販売代理店協会は9月のトルコ国内の自動車及び軽商業車の販売数が対前年同月比6%増の7万1,352台となったと発表した。一方で、9月までの総販売数は対前年同期比1.4%減の62万7,343台だった。(10月4日付HDN紙10面)

【経済政策】

●アーバル財務相:「増税による歳入は防衛費へ」

9月28日、イスタンブール金融サミットの席上、アーバル財務相は、増税による歳入の増加分は、政府予算ではなく、防衛産業基金に割り当てられると発言。トルコの地政学的リスクが高まる中、防衛費用が増加することになる。27日に発表された中期計画では、増税によって見込まれる追加歳入は280億トルコ・リラに上る見込み。(9月29日付HDN紙1面及び11面)

●自動車への40%の増税率を引き下げ、政府発表

2日、ボズダー政府報道官は、自動車に対する40%の増税率を「合理的な水準まで」引き下げると発表。増税率全体には自動車購入時の増税、ロト等の宝くじ賞金に対する増税(10%から20%へ)、タバコの巻紙やエナジードリンクに対する特別消費税等が含まれている。(10月4日付HDN紙10面)

【金融】

●銀行の純利益、25%増

3日、銀行監督庁(BDDK)は、2017年1月から8月までの間、トルコの銀行部門の純利益は対前年同期比25.3%増の332.8億トルコ・リラとなったと発表。また、同期間の銀行部門の総資産高は3兆トルコ・リラ超となった。(10月5日付HDN紙10面)

【経済と外交】

●ロシアへのトマトの輸出、解禁へ

(1)9月28日、ゼイベキジ経済相は、ロシアが近日中にトルコのトマトに対する禁輸措置を解除する見込みと発表。9月上旬にロシアは、同国内のトマト生産が需要をカバーしきれないため、冬期に輸入を再開する可能性を報じていた。(9月29日付HDN紙インターネット版)

(2)4日、ドゥヴォルコヴィッチロシア副首相は、2017年末又は2018年初頭にトルコからのトマトの輸入を再開する見込みで

あると述べた。ただし、5 万トンを上限とする。(10 月 5 日付 HDN 紙 10 面)

●トルコとイランの大統領、両国間の貿易額を 3 倍にすることで一致

14 日、エルドアン大統領とイランのローハニ大統領は、両国間の貿易額を現在の 100 億ドルから 300 億ドルに拡大させることで一致明した。また、両国間の 3 か所の国境検問所を 24 時間オープンにすることも発表された。(10 月 5 日付 HDN 紙 10 面)

【エネルギー関連】

●ターキッシュ・ストリーム・オフショア・ガスパイプライン、EIA 最終承認

3 日、環境都市省は、ターキッシュ・ストリーム・オフショア・ガスパイプラインの環境影響評価(EIA)の最終承認を発表した。第 1 パイプラインはトルコ国内の消費者用、第 2 パイプラインは南欧及び南東欧諸国用に建設し、いずれも年間 157.5 億立方メートルのガス輸送容量となる予定。(10 月 4 日付 HDN 紙 11 面)

●イラン、トルコの第 1 位の原油輸入元に

9 月末に発表されたエネルギー市場規制当局(EPDK)の月報によると、2017 年の 1 月から 7 月までの間にイランがトルコに輸出した原油量は対前年同期比 142%増の 740 万トンで、イラクを抜きイランが第 1 位の輸入元となった。また、10 月 4 日、イラン訪問中のエルドアン大統領は、同国からの天然ガスの輸入量の増大にも意欲を見せた。(10 月 5 日付 HDN 紙 10 面)

●国際金融公社、石油精製最大手トウブラシュ社に 1 億ドルの融資

4 日、世銀グループの国際金融公社(IFC)は、トルコの石油精製会社トウブラシュ社に対し、7 年間で 1 億ドルの融資を行うと発表。同社の環境改善に関する投資計画、効率性の向上及び調査・開発活動を支援するほか、イズミット、イズミル及びクルクカレの精製所における硫黄回収装置を新たに設置し、原油精製能力及び硫黄排出の最適化を図る。(10 月 5 日付 HDN 紙 10 面)

【農業・食品】

●9 月のヘーゼルナッツ輸出量、約 2 倍に

2 日、セヴィンチ黒海ヘーゼルナッツ生産輸出業者協会(KFMIB)会長は、9 月のトルコのヘーゼルナッツ輸出量は対前年同月比 89.2%増の 2.8 万トンとなり、1 億 8,740 万ドルの売上額となったと発表。(10 月 4 日付 HDN 紙 11 面)

(写真は 10 月 3 日付 HDN 紙インターネット版から)

●トルコから日本へ、家きん肉の輸出にゴーサイン

9 月 29 日付けでトルコから日本への家きん肉の輸出が解禁されたことを受け、クズルタン・エーゲ地域水産・食肉加工輸出業者協会会長は、トルコでは 24 社、30 か所の生産工場が日本への輸出許可を取得していると述べた。また、同会長は、人口 1 億 3 千万の日本市場に参入できれば、北イラクの情勢による損失を補って余りあると発言。さらに、ギリト同会副会長は、日本市場への輸出は他の市場へ輸出する際の参考になる、とその重要性を強調した。(10 月 3 日付 M 紙インターネット版)



(写真は、10 月 3 日付 M 紙インターネット版から)

【企業等の動き】

●モーヴェンピック・ホテル、ワールド・トラベル・アワーズから表彰

9 月 30 日、ワールド・トラベル・アワーズは第 24 回ヨーロッパ・ガラ・セレモニーにおいて、モーヴェンピック・ホテル・イスタンブールを「ヨーロッパの第一級ビジネスホテル」及び「トルコの第一級コンフェランス・ホテル」に選出、表彰した。(10 月 2 日付 HDN 紙 10 面)

●インジ GS ユアサ、自動車用蓄電池のマニサ工場の起工式を開催

9 月 29 日、インジ・ホールディングと GS ユアサとの合弁企業、インジ GS ユアサは、2018 年末に操業開始予定であるマニサの自動車用蓄電池生産工場の起工式を開催した。同社は同工場に 1.2 億トルコ・リラを投資し、現在の年間 500 万個の生産体制から 700 万個超生産できる体制に増強する。また、同社は、同工場で生産した蓄電池の世界 80 か国への輸出を予定している。(9 月 29 日付 Dunya 紙インターネット版ほか)



(写真は、9 月 29 日付 Dunya 紙インターネット版から)

●ヤブ・メルケジ、タンザニアで高速鉄道建設案件を受注

2 日、トルコの建設大手、ヤブ・メルケジは、タンザニアにおける 19 億ドル規模の高速鉄道設計・建設案件を受注したと発表。同国の内陸の都市モロゴロとマクトウボラとを結ぶ 336km の鉄道建設は、トルコ企業が単独で国外において受注した案件としては最大規模。なお、同社は、2 月に同国の首都ダルエスサラームとモロゴロを結ぶ 205km の鉄道建設案件も落札していた。(10 月 4 日付 HDN 紙 11 面)

【閣僚発言】

●エルドアン大統領とクルチダルオール CHP 党首、金利を巡り論戦

3 日にトルコ統計庁(TUIK)が発表したインフレ率の上昇を受け、エルドアン大統領は AKP の党内の会合でインフレ率の高止まりの原因は高金利にあるとし、金利を低下させる必要性を強く主張。一方で、クルチダルオール CHP 党首は、同大統領の発言は中央銀行の業務に干渉するものであり、いたずらに金利をやり玉に挙げることを批判した。(10 月 4 日付 HDN 紙 10 面)

治安

【ISIL 関係】

●トルコ政府がフランス国籍の ISIL 戦闘員を強制送還

アナトリア通信によると、今週、トルコ政府は、フランス人に対するリクルートのキーマンであった ISIL 戦闘員(フランス国籍)、同人の妻(チュニジア国籍)及び子供 2 人を同国へ強制送還したと公表した。同戦闘員は、今年初めにシリアのアル・バブで行われた「ユーフラテスの盾」オペレーションにより逮捕されていた。(9 月 28 日付 HDN インターネット版)

●9 月中にトルコ国内で ISIL 容疑者 135 名を拘束

9 月中にトルコ国内で実施された対 ISIL オペレーションによって容疑者 135 名が拘束され、12 名が逮捕された。イスタンブールにおいては、ソーシャルメディアで「ローンウルフ型」テロを扇動していた ISIL 幹部とメンバー 3 名が逮捕され、ボストンマラソン・テロ事件で使用された爆弾の製造方法の資料が押収された。9 月 30 日には、イスタンブール市内 14 か所でオペレーションが実施され、外国人戦闘員 50 名がイラクとシリアの ISIL からの攻撃命令を待っている状態であったことが明らかとなった。(10 月 2 日付 HDN 紙 2 面)

【PKK 関係】

●シュルナク県で PKK の攻撃により村落警備員 2 名が死亡

1 日、シュルナク県において、PKK の攻撃により、村落警備隊の隊長と隊員各 1 名が殺害され、隊員 4 名が負傷した。(10 月 4 日付 HDN 紙 2 面)

●ディヤルバクル県の小学校で PKK の爆弾を発見

3 日、ディヤルバクル県の小学校の校庭において、児童が PKK により残留された爆発物を発見した。軍が現場に派遣され、周辺に厳重な警備体制を敷き、爆弾処理が行われた。(10 月 4 日付 HDN 紙 2 面)



(写真は、10 月 4 日付 HDN インターネット版から)

●ハツキヤリ県において、兵士 4 名が路肩爆弾で死亡

4 日、ハツキヤリ県において、軍基地と検問所の間を装甲車が走行していた際、路肩爆弾が爆発し、兵士 4 名が死亡、4 名が負傷した。(10 月 4 日付 HDN 紙 3 面)

【FETO 関係】

●クーデター未遂事件の被告 40 名に終身刑の判決

4 日、ムーラ県の裁判所は、昨年発生したクーデター未遂事件に関し、被告 40 名に対して、エルドアン大統領殺害未遂の罪で終身刑の判決を下した。公判において、一部の被告は、証拠不十分であり、公平な裁判ではないと異議を唱えたが、裁判官は、通常どおりの司法手続が行われたとした。(10 月 5 日付 HDN インターネット版)



(写真は、10 月 4 日付 HDN インターネット版から)

【その他】

●イスタンブールで発生した反シリア政府活動家殺害事件の容疑者を拘束

9 月 21 日にイスタンブール市内でシリアの反政府活動家オルバ・バラカット母娘が刺殺された状態で発見された事件に関

し、警察は、防犯カメラの捜査により、ブルサ県において同事件に関与した容疑者 1 名を拘束した。同容疑者は、被害者の親族と見られている。(9 月 30 日付 HDN インターネット版)

●治安部隊がシリアからの不法入国者 2,488 名を拘束

9 月 30 日、トルコ治安部隊は、シリアからトルコへの不法入国者 2,488 名、トルコからギリシャ及びシリアへの不法出国者 61 名を拘束した。トルコは国境警備強化のため、シリア国境沿いに 731 キロの壁を建設している。(9 月 30 日付 HDN インターネット版)

●トルコ内務省が過去 1 週間の活動成果を発表

トルコ内務省が発表した過去 1 週間の活動成果によると、合計 2,095 回のオペレーションを実施し、テロリスト 68 名を無力化(殺害 49 名、拘束 4 名、投降 15 名)し、1,202 名のテロ支援者(PKK/KCK133 名、極左 26 名、ISIL45 名、FETO/PYD998 名)、薬物関連犯 3,715 名、不法入出国者 682 名を拘束した。(10 月 3 日付 HT インターネット版)

●トルコの裁判所が麻薬密輸犯罪の首領を釈放

2 日、トルコの裁判所は、2011 年にイスタンブールで逮捕されていた麻薬密輸犯罪の首領であるアブドラー・バイバシンを保護観察及び国外渡航禁止の条件付きで釈放した。同人は、英国とのヘロイン・トレードの 90%を支配していた。(10 月 3 日付 HDN 紙 2 面)

●在イスタンブール・米国総領事館の職員が FETO 関連容疑で逮捕

4 日、在イスタンブール米国総領事館の職員が、FETO と関係を有し、政治的・軍事的スパイを行っていた等の容疑で逮捕された。イスタンブール検事長によると、同職員は、FETO の容疑で罷免されて逃亡中の元検察官に電話をしていた。5 日、在トルコ米国大使館は、同逮捕を厳しく非難する声明を発出した。(10 月 5 日付 HDN インターネット版)



(写真は、10 月 5 日付 HDN インターネット版から)

【軍事】

●ソマリアでトルコ支援による軍事訓練アカデミーが開設

9 月 30 日、ソマリアの首都モガディシュにおいて、トルコの支援により軍事訓練アカデミーが開設された。4 キロ平米の同施設は、1 度に 1,500 以上の部隊を収容することが可能であり、今後、トルコ軍の高官が同施設において 1 万人以上のソマリア兵を訓練する。ソマリアでは、アル・シャバーブとの戦闘が最も大きな懸念事項の 1 つとなっている。(10 月 2 日付 HDN 紙 1 面及び 9 面)

社会

●アンタルヤ博物館にヘラクレスの石棺が 50 年振りに帰郷

約 50 年前にトルコから国外に密輸されたとされるヘラクレスの石棺が、2 週間前にスイスからトルコに帰還した。正式な法的手続を経て帰還した石棺は、アンタルヤ博物館で行われた記念式典で披露され、初日には約 1,000 人が同博物館を訪れた。(10 月 2 日付 HDN 紙 6 面他)



(写真は、10月2日付 HDN 紙インターネット版から)

●絶滅危惧種の水仙採取が厳罰化

アンタルヤの浜辺に生息する水仙を許可なく採集した者に罰金 38,751 トルコ・リラが課されることとなった。水仙は、ここ数年の環境の変化や地元の人々による採集により、生息数が大幅に減少している。地元で水仙の保護を行っているオズジャンさんは、浜辺に生息する水仙は海辺の砂地でのみ生育可能な植物であり、自宅の庭に植えても育たないため持ち帰らないで欲しいと訴えている。(10月2日付 HDN 紙 2 面他)



(写真は、10月2日付 HDN 紙インターネット版から)

●飢えた野良犬、赤鹿を襲う

ブルサ県にあるウルダー大学敷地内で飼育されている赤鹿が、野良犬に襲われる事件が発生した。同大学では森林・水省の指導の下、2004 年から乱獲のために激減した赤鹿を飼育し、過去 13 年間で 10 頭から 100 頭にまで繁殖させている。施設がフェンスで囲まれているにも拘わらず発生した今回の事件について、当局はフェンスの一部が破損している可能性を示唆。(10月3日付 HDN 紙 2 面他)

●乳がん罹患率 8 人に 1 人

トルコ癌協会は「乳がんへの認識を高める月間」として記者会見を開いた。世界では毎年 40 万人の女性が乳がんで命を落としている。協会は「トルコでは乳がんの発生率は 8 人に 1 人で、極めて高い確率であると言える。しかしながら早期に発見することで完治が望めるがんでもある。」と早期発見の重要性を訴えた。(10月3日付 HT 紙 7 面他)

●バクラヴァ・コンテスト開催される

ファーティヒ区及びバクラヴァ・デザート生産者協会の共催で、「第 10 回バクラヴァ・フェスティバル」が開かれ、全国のバクラヴァ職人が腕を競った。優勝者には金貨が贈呈されるとともに、チチェック・パザールの脇に設置されたスタンドでは 1 万 5 千個のバクラヴァが市民に振る舞われた。(10月4日付 HT 紙 20 面他)



(写真は、10月4日付 HABER7COM から)

●ソロモン王のものと思われる紋章が発見される。

3 日、アマスヤ県北部において、黄金の板にヘブライ語が書か

れた遺物、お守り、牛が象られた置物など歴史的な遺物 11 点が見つかり、そのうちのブロンズ製の紋章は、ソロモン王のものと思われることが分かった。発見された遺物はアマスヤ博物館に移設された。(10月4日付 HDN 紙 7 面他)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事務総局	OSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党(親中党)	OB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党(クルド族党)	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党(最大野党)	RTÜK	ラジオ・テレビ規制機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党(戦線)	SPK	証券取引監査院
DHMI	国営航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TODD	トルコ国統
DTP	民主社会党	TQHB	トルコ権利医師会
DYP	正義党	TESK	トルコ職工連合会
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党(クルド族党)	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築家協連盟
HSYK	銀行家・株主等委員会	TOKİ	トルコ資金住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	取水競争事
İHH	人権・自由・人運発展団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会館	TUBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İSİD	イラク・レバントのイスラム国(アルカイダ系)	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール職工会館	TUPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共闘隊(PKK系)	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YOK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党(野党)	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞	通信社		
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Ghan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2017.1.1～2017.10.5 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2016年		7件		2件		24件		2件
2017年	0件	6件	0件	0件	0件	11件	0件	0件

★当館 HP 更新のお知らせ★

●今月、当館は、ダイキンとの共催で、鬼太鼓座の和太鼓公演をイスタンブール、イズミル及びブルサの三都市で開催します。詳しくは当館 HP まで。

●ジェヴヘルオール AFAD 担当イスタンブール県副知事夫婦及びタル同県本部長の江原総領事訪問 (10/06)